

神奈川県立金沢養護学校



# 学校だより

第 150 号 令和元年 9 月 27 日

## 「夏から秋へ」

2学期のスタートから早くも1ヶ月、少し秋らしさも感じるころとなりました。ちょっと早いですが、新緑から紅葉への季節、周囲の自然を観察しながらその変化を楽しみたいものです。

さて、9月1日は「防災の日」でした。テレビや新聞などでも全国各地の取組などを盛んに紹介されている中で、改めて「備え」と「行動」の必要性を感じました。9月1日は、大正12(1923)年の関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上で二百十日にあたり、台風シーズンを迎える時期でもあります。昭和34(1959)年9月には、伊勢湾台風による甚大な被害が契機ともなり、昭和35(1960)年6月の閣議で、9月1日を「防災の日」とすることが了解されたそうです。近年台風の被害だけでなく、局地的な大雨による被害も多く報告されており、災害情報の収集をしっかりと心がけながら、早め早めの行動が大事となります。学校においても、避難訓練の積み重ねや、緊急時のための必要物品整備など、漏れのないように進めていきたいと思えます。

さて、この夏には学校周辺のいくつかの自治会「夏祭」に足を運ばせてもらいました。地域の子どもの笑顔に囲まれながら、暑い中で準備から片付けまで行っている役員の方々をはじめとする大人も自ずと笑顔になれるイベントですね。翌朝に近隣公園にて、子どもたちのラジオ体操を見守る姿も拝見し、懐かしさと温かさを感じました。多くの自治会役員の皆様ともお話をすることもでき、感謝申し上げます。本校の「かなようまつり」にも地域の皆様や多くの関係者の方々に協力をいただき大成功の一日でした。たくさんの方々との新たな出会いがあったこの「夏」に感謝です。

そして、9月2日(月)には、鳥浜駅海側の工業団地にある「海洋電子工業(株)」様より給食用食器が寄贈されました。実は、昨年度に

〈海洋電子工業(株)の皆様との写真〉

引き続きの寄贈で、これまで使用していた食器がすべて更新されることとなりました。また、これまでも様々な形で学校支援をしていただいております。児童・生徒、教職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。



学校も地域に対し貢献できることは何か、しっかりと模索していかねばと思えます。

この2学期は各学部・学年で様々な行事や学習活動も行われます。秋は何をするにもよい季節と言われています。「芸術」「食欲」「スポーツ」「行楽」「読書」などなど、日々の学習とともに、目標を定めコツコツと取り組みたいものですね。

校長 鈴木 英資